

# 平成28年度 消防局予算要求方針

## 【目次】

- 1 平成28年度消防局予算要求総括表及び経営方針・・・・・・・・1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・・・3

# 1 平成28年度消防局予算要求総括表及び経営方針

## (1) 平成28年度消防局予算要求総括表

### 【一般会計】

平成28年度要求総額 3,127,716千円  
 (平成27年度予算額 2,898,109千円)  
 前年度比 + 7.9%

### 《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成28年度 予算要求額 (A)	平成27年度 予算額 (B)	増減 (A-B)
市民防災活動への支援	6,596	6,596	0
応急手当の普及啓発活動の推進	3,678	2,336	1,342
消防団の充実・強化	172,982	108,763	64,219
緊急通報システム事業	43,189	50,000	△6,811
救急体制の充実・強化	20,669	19,654	1,015
救急ワークステーション移転新築	19,625	0	19,625
門司消防署建替新築	189,633	4,900	184,733
八幡西消防署移転新築	23,454	114,300	△90,846
(仮称)ひびきの出張所新築	27,274	51,250	△23,976
消防施設の耐震化	45,999	35,100	10,899

## (2) 平成28年度消防局経営方針

「市民の生命、身体及び財産を災害などから守る」という使命のもと、北九州市基本構想・計画に基づき「健康で安全・安心な暮らしの実現」に取り組んでいきます。

また、近年、全国各地で頻発する大規模災害の教訓を踏まえた災害対策や、焼死者防止対策など地域と一体となった防災力の強化に取り組めます。

さらに、災害需要や社会情勢の変化を見据え、将来に向けた消防力の整備を進めます。

### ① 地域の総合的な災害対応力の強化

老朽化した市場商店街の防火対策を推進するとともに、地域の災害対応力を強化するため、その要である消防団装備を充実強化し、団員が誇りを持って活動できるよう、イメージアップを図ります。

また、「市民防災会」をはじめとした自主防災組織との連携強化を図り、住民が主体的に防災に取り組むまちづくりを推進します。

さらに、市民への応急手当の普及啓発を進めるとともに、AEDの効果的な活用についての取組みを進めます。

### ② 高齢者等災害弱者の安全・安心対策の推進

高齢者等をはじめとした災害弱者が、安心して住み慣れた地域で暮らすことができるよう、緊急通報システムによる迅速な対応を図るとともに、女性消防団員による「いきいき安心訪問」を積極的に推進します。

その他、火災による死者数を抑制するため、住宅用火災警報器の設置促進をはじめ、災害弱者施設の消火・避難・通報体制の確保に向けた指導・助言など各種防火対策に取り組めます。

### ③ あらゆる災害に対応できる消防力の強化

救急増加対策に積極的に取り組むとともに、救急救命士の処置拡大に伴う追加講習や、救急ワークステーションの機能を強化するなど、救急体制の充実強化を図ります。

また、小倉北区と八幡西区に配置した特別高度救助隊（ハイパーレスキュー）2隊を軸にした救助体制を充実させ、あらゆる災害からこのまちを守ります。

### ④ 消防施設等の整備

今後発生が懸念される南海トラフ巨大地震のような大規模災害にも対応できるよう、門司、八幡西消防署の建替えをはじめ、若松区西部に出張所を整備するとともに消防施設の耐震化を進め、災害対策に万全を期します。

## 2 重点的に取り組みを行う主なもの

### (1) 地域の総合的な災害対応力の強化

- |        |   |                               |
|--------|---|-------------------------------|
| Ⅱ-1・継続 | ・市民防災活動への支援<br>「市民防災会」の育成指導や活動助成を進め、地域ぐるみで開催される消防訓練等を通じて、市民の主体的な自助・共助意識の醸成を図り、災害のない安全・安心なまちづくりを推進します。 | 6,596 千円                      |
| Ⅱ-1・継続 | ・応急手当の普及啓発活動の推進<br>市民の救命効果の向上を図るため、AEDを含めた応急手当の普及啓発活動を積極的に推進します。                                      | 3,678 千円                      |
| Ⅱ-1・拡充 | ・消防団の充実・強化<br>老朽化した消防団施設を計画的に整備するとともに、消防団装備を充実強化し、団員が誇りを持って活動できるよう、イメージアップを図ります。                      | 172,982 千円<br>(拡充分 64,219 千円) |

### (2) 高齢者等災害弱者の安全・安心対策の推進

- |        |   |           |
|--------|---|-----------|
| Ⅱ-2・継続 | ・緊急通報システム事業<br>ひとり暮らしの高齢者世帯等に火災センサーなどを接続した緊急通報システムを設置することにより、緊急事態を未然に防止し、かつ被害の軽減を図ります。                                      | 43,189 千円 |
| Ⅱ-2・継続 | ・いきいき安心訪問の推進<br>介護職員初任者研修の資格を有する者を中心とした女性消防団員が、ひとり暮らし高齢者世帯等を訪問し、防火・防災指導や簡単な在宅支援サービスを行うとともに、福祉に関する相談を関係機関につなぐなど、安心感の向上を図ります。 | 8,428 千円  |
| Ⅱ-1・継続 | ・住宅防火対策の推進<br>住宅火災による死者を抑制するため、すべての住宅に設置が義務付けられた住宅用火災警報器の設置促進を図るなど、住宅防火に係る啓発活動を積極的に推進します。                                   | 1,742 千円  |

### (3) あらゆる災害に対応できる消防力の強化

- |        |   |           |
|--------|---|-----------|
| Ⅱ-1・継続 | ・大規模災害対策用資機材の充実・強化<br>東日本大震災を教訓に、大規模災害に必要な消防活動用資機材を整備し、緊急消防援助隊の活動能力を向上するとともに、消防体制の強化を図ります。                                      | 12,863 千円 |
| Ⅱ-1・継続 | ・救急体制の充実・強化<br>救急救命士の処置拡大に伴う追加講習を受講させるとともに、救急体制の充実強化のため救急救命士の資格取得養成を計画的に増強し、安全確実な救命処置に取り組みます。                                   | 20,669 千円 |
| Ⅱ-1・新規 | ・救急ワークステーション移転新築<br>病院内や一緒に出動した救急現場で医師から指導を受ける市立八幡病院内の救急ワークステーションを、移転新築が計画されている新市立八幡病院の救急部門に近接した場所に移転し、救急業務高度化の更なる推進拠点として整備します。 | 19,625 千円 |

### (4) 消防施設等の整備

- |        |   |                              |
|--------|---|------------------------------|
| Ⅱ-1・継続 | ・門司消防署建替新築<br>門司区の消防力の強化を図るため、老朽・狭隘化した門司消防署の建替新築を行います。  | 189,633 千円                   |
| Ⅱ-1・継続 | ・八幡西消防署移転新築<br>八幡西区の消防力の強化を図るため、老朽・狭隘化した八幡西消防署の移転新築を行います。   | 23,454 千円                    |
| Ⅱ-1・継続 | ・(仮称)ひびきの出張所新築<br>市街地の拡大や人口の増加により、火災・救急などの消防需要が増加している若松区西部の消防体制を強化するため、学術研究都市整備区域内に(仮称)ひびきの出張所の新築を行います。 | 27,274 千円                    |
| Ⅱ-1・拡充 | ・消防施設の耐震化<br>災害発生時において防災拠点となる消防施設の耐震化を促進するため、耐震診断の結果に基づく耐震補強計画や耐震工事を計画的に実施します。                          | 45,999 千円<br>(拡充分 10,899 千円) |